

# 一般質問

市政全般にわたり20人の議員が質問  
(紙面の都合により要旨を掲載)

## 賭博を起こした職員よ、反省せよ!!

**三枝議員**(民主・市民連合)  
市役所職員の賭博問題について  
本市職員賭博問題について報道内容と事実は相違ないかお答えください。また、今回の件は、刑法第百八十五条に抵触することになります。さらに、その賭博を庁舎内で行ったことが、さらに不信を招いています。まずは当然の義務として再発防止、そのために今後の管理体制をどのように行うのか。担当部・課長には管理をしっかり行っていたきたい。そして、市民の皆様にも「反省し、まじめに業務に取り組んでいこう」ということをお示しいただきたい。  
**市長** 一部の職員とはいえ

議員指摘の事案が生じましたことを大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。ごさいます。このようなことは二度あつてはならない行為であると認識しています。ほとんどの職員がしっかりと働くことを信じていますし、その徹底を強く図っていききたいと思ひます。

## 後援する? 日米親善益踊り

**安斉議員**(明政会)  
市長の政治姿勢について  
在日米軍は開かれた基地、地域貢献を意識したPRをしており、軍用ヘリコプターや施設に隣接する装飾の展示会、基地内野球場の地元への開放など、在日米軍再編に伴う反対運動に対し、地元の理解を得ることを最優先にしているとの新聞が報じています。市長は、近隣、つまりアメリカの軍人と親善を深めることは人間の人情であるとお考えのようですが、来年の日米親善益踊りについて後援するのかどうかお示しください。  
**市長** 私は人と人との交流

## 相談事業の早期一元化を

**牧嶋議員**(神奈川ネット)  
消費者生活相談の充実について  
振り込め詐欺や架空請求による被害、複雑化・多様化する消費者トラブルは増加の一途をたどり、今や大きな社会問題となっています。国は消費者基本法に基づき消費者基本計画において消費者教育を重点施策としています。行政における消費者被害の未然防止を重視した消費者教育、相談・啓発事業の充実、ますます重要となります。本市では現在、相談事業は広聴相談課、啓発事業は商工観光課がそれぞれ担っています。相談や被害事例等をもとに啓発事業へと反映させることが有効で担当課の一元化が必要と考えますが見解を求めます。

**市民部長** 消費者被害の未然防止と消費者教育、啓発は寄せられた相談から見えてくるさまざまな問題を市民にフィードバックすることが効果的であると考えています。今後、担当課の一元化に向けて検討させていただきます。

## 救急隊四隊体制の確立を

**沖本議員**(市政クラブ)  
救急隊体制について  
本市の救急車所有台数は四台であり、人口に対する所有台数の基準は満たしているものの、四台中三台は正規の救急隊員で部隊編成され、救急隊員が同乗できませんが、四台目の救急車は予備部隊の扱いとされ、通信指令業務を

する隊員や消防隊員で即席部隊を編成し出動する状況であり、救急隊員が同乗することが難しくなっています。救急隊体制の危機管理の観点から消防長の所見を伺いたい。  
**消防長** 平成十九年度の救急件数は四千五百六十六件で予備救急車の出場は三十一件でした。平成二十年度は救急

## ひもつき補助金の全廃を

**沖永議員**(民主・市民連合)  
市長の政治姿勢について  
民主党のマニフェストでは「国から地方へのひもつき補助金を廃止し、基本的に地方が自由に使える一括交付金として交付する」とあります。国の補助金が地域の事情に合わないことや地方自治体を統制する役割を果たしてきたこ

とを、私はこれまでも指摘してきました。  
例えば、米軍再編交付金は、米軍再編を容認する地方自治体には交付しません。反対を押しつけるため、地方自治体が自由に使える一般財源ではなく、防衛省の特定財源

## 三十五人学級の充実を図れ!

**池田議員**(市政クラブ)  
教育について  
県教育委員会は、小学校一年生の学級規模を四十人から三十五人にする少人数学級の実施を明らかにしました。これを受けて本市では、平成十六年度から小学校一学年を対象に取り組み、平成二十一年度には少人数指導を行うため非常勤講師を十四名配置するとしています。  
年度ごとにそれぞれ充実を

はしていくべきだと思ひます。基本的な信頼関係の醸成を目指して行動していきたいと思ひますが、過去に行った共催といったような考え方は、今は持ち得ていません。しかしながら、できる限り利用できるものについては利用させていただくという点で、よく話し合いをしていきたいと思ひます。

## 綾瀬IC設置の可能性は

**小川議員**(政和会)  
東名高速道路「綾瀬IC」の設置と交通対策について  
現在計画されている綾瀬IC(インターチェンジ)が設置されれば、市民の利便性向上、隣接するIC周辺の慢性的な渋滞解消、地域経済の発展につながります。この綾瀬IC設置の可能性と、設置のための本市の費用負担はどうなるのかお尋ねします。  
さらに、綾瀬IC設置に伴い接続する道路について、広域道路ネットワークの効果

を最大限に享受するとともに、想定される通過交通の流入に対応するため、都市計画道路広野大塚線を含む道路整備が必要不可欠と考えますが、市長の本事業への取り組みについて、お考えを伺います。  
**市長** 綾瀬ICは、実現す

## 国有地を活用し公園の向上を

**伊藤議員**(政和会)  
公園の安全対策と利便性について  
かみが沢公園の安全対策として植込みなどの刈り込みや樹木の剪定がなされ、見通しがよくなり、夜間も街路灯の明かりで明るく感じられるようになりました。今後刈り込みの高さ調整や足元を照らす街灯などにより、利用者である市民の安全対策がとられることを願います。  
また、公園北側に国有地があり、かみが沢公園の北側入り口として利用できれば広場を利用する人たちにとっては大いに利便性が向上し、地域の活性化、市の玄関である相武台前駅周辺の整備にもつながると思ひますが、市の方針としてどのようにお考えなのかお尋ねします。  
**市長** 国有地については、売却留保のお願い、要望を国の方にさせていただき、そして、とり得る措置が今後出てきた時点で、また考えていくということに対応させていただきます。

にしているわけです。  
ひもつき補助金を全廃して地方の裁量権がある一括交付金に変えていくことについて、市長の見解を伺います。  
**市長** 全くそのとおりだと思います。自主性をもって地域の事情にあつた行政のためには、自由裁量で使える一般財源としての財源移譲が必要だと思ひます。

## 在日の姿勢をどう受けとめる?

**米陸軍**  
**伊田議員**(政和会)  
キャンパス座間「開かれた基地」「地域貢献」について  
キャンパス座間を抱える在日米陸軍が「開かれた基地」「地域貢献」を意識したPR攻勢を強めているとして、先般、キャンパス座間公開を表明、野球場開放も模索、米陸軍がPR攻勢」という見出しで新聞記事が掲載されましたが、その内容である軍用ヘリコプターや施設を公開する「装備展示会」を今年十一月に初めて実施すること、キャンパス座間の野球場を地元住民に開放する方針で調整していること、野球やサッカーなどの日米親善スポーツ大会を十一月に開催する予定について市長は総括的にどう受けとめられているのか伺います。  
**市長** 司令官が当地、座間の市民、周辺地域の皆さんに理解を得るということを中心として、優先したいという考えの表れ、証であるというふううに受け止めており、こうした姿勢を私は評価すべきものと思ひます。

の野球場を地元住民に開放する方針で調整していること、野球やサッカーなどの日米親善スポーツ大会を十一月に開催する予定について市長は総括的にどう受けとめられているのか伺います。

## コンビバス新コースの内容は

**上沢議員**(公明党)  
コンビニエバスの充実について  
昨年の第四回定例会において、コンビニエバスの小松原・相模が丘循環コースについて、利用者が多く乗り切れ

ない課題や相模が丘・二丁目目の市民が利用しやすい五丁目の市民が利用しやすい辰街道から幸道路を経由して運行するコースの新設などを提案しました。その際の答弁では、運行計画検討委員会で検討するとしていましたが、

現在、新コース設定に向けて準備を進めていると伺っています。新コース設定の運行経路、開始時期、バス停の箇所などをお示しください。  
**企画財政部長** 相模が丘方面の新コースについては、市役所から東道座間大和線の小松原交差点を経て、辰街道を

(3面へ続く)